

政策の風『りんどう』

第6号 発行 令和3年11月22日



県歯連盟 2期目の伊藤執行部

「国民の健康長寿延伸-歯科からのアプローチ」にご協力を！！



熊本県歯連盟役員です。よろしくお願ひいたします。(任期令和3年7月～令和5年6月)

3列目 明受理事(菊池郡市) 小田理事(天草郡市) 清村理事(上益城郡) 小林理事(山鹿市) 緒方理事(下益城郡) 鬼塚理事(水俣・芦北郡市)

2列目 椿常任理事(熊本市) 鶴田副理事長(八代) 塚本理事(球磨郡) 福嶋理事(荒尾市) 神崎理事(熊本市) 橋口理事(熊本市)

前列 甲斐田常任理事(阿蘇郡市) 赤城常任理事(熊本市) 牛島理事長(熊本市) 伊藤会長(菊池郡市) 牧副会長(熊本市) 三苫監事(熊本市) 安田監事(玉名郡市)

熊本県歯科医師連盟

会長挨拶

会長 伊藤 明彦



日頃は連盟活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。今期、2期目の連盟会長を拝命し身の引き締まる思いでございます。また、連盟活動がより活発化するよう、理事会内での所管を明確にし、新役員とともに、来年の参議院選挙に向け最大限の努力を致します。

国民、県民の健康を歯科の立場から訴え、我々が理想とする歯科医療を促進していくためには政治と向き合っていかなければなりません。「全年代層にわたる国民皆歯科健診の充実」は政府の骨太の方針に連続5回記載され、第49回衆議院選挙における自民党の選挙公約にもなりました。これを実現できるか否かには、歯科界の未来がかかっています。

連盟会員の皆様には「国民の健康長寿延伸-歯科からのアプローチ」のために何卒ご協力を心よりお願い申し上げ再任のご挨拶とさせていただきます。

第49回衆議院議員総選挙 2021 熊本

本会推薦自民党前職3人議席守る

2区は無所属新人候補が初当選



1区 木原稔候補



3区 坂本哲志候補



4区 金子恭之候補

各候補者の選挙事務所には、県歯連盟伊藤会長はじめ、役員も駆けつけ、当選された候補者にお祝いをお伝えしました。各候補者の当選後のコメントは以下の通りです。

木原稔候補 (自民・前) : 5回目

「これからも感染症対策を自信を持ってやっていきたい。そういったお約束を一つずつ丁寧に着実に実行していくことを皆さま方にお誓いを申し上げます。5期目も謙虚に努力精進して参ります。ありがとうございました。」

坂本哲志候補 (自民・前) : 7回目

「我々の地方をよくすることがこの日本を素晴らしい国になる。そう信じて今日からこの今このときから活動を開始して参ります。選挙中に約束したこと、とりわけコロナからの地方経済の再瀬に全力を尽くします。」

金子恭之候補 (自民・前) : 8回目

「是非私も被災地を抱える議員として大臣として地方の復興、災害からの復興、このことを皆さま方にお約束を申し上げます。国家国民のため、愛する故郷・熊本のため国勢のと真ん中で邁進して参ります。」

今回の衆院選では、本連盟が推薦した自民党前職の木原稔候補、坂本哲志候補、金子恭之候補の3人は、安定した選挙を進め、開票が始まると同時に、ニュースで当確が表示され、堅実にその議席を守りました。

一方で、2区の野田毅候補は、残念ながら無所属新人の西野太亮候補に敗れました。

投票率は56.40%と前回より0.62ポイント低下し、戦後2番目に低い水準にとどまりました。

「国民皆歯科健診」が自民党の「公約」の重点項目になりました！



新しい時代を
皆さんとともに。

第49回衆議院議員総選挙において、「国民皆歯科健診」が初めて自由民主党の公約に盛り込まれました。「国民皆歯科健診」で健やかな人生100年時代を実現する議員連盟（国民皆歯科健診実現議連）は、「口腔の健康は全身の健康にもつながることから、生涯を通じた歯科健診の充実に取り組む」という大義に基づいて今年6月16日に設立され、10月9日時点で衆参合わせて158名の国会議員が入会しています。

10月5日に議連を代表し、会長の古屋圭司議員（衆議院）と事務局長である山田宏議員（参議院）が、政務調査会長の高市早苗議員（衆議院）と会談し、次期総選挙の公約に「国民皆歯科健診」を盛り込むように申し入れを行った結果として、今回の公約への記載が実現しました。

今回の総選挙において「国民皆歯科健診」が自民党の公約に盛り込まれたことは、その実現に向けた大きな一歩です。

さらに、自由民主党政権公約発表記者会見では、高市早苗政調会長により、来るべき衆議院総選挙に向けた自民党の政権公約が発表されました。記者会見では熊本県選出で、自由民主党政務調査会の副会長（兼）事務局長の木原稔衆議院議員が司会を務められました。

この「国民皆歯科健診」については、令和2年4月発行の『りんどう』でも紹介したとおり、山田宏参議院議員が令和2年3月3日に開かれた参議院予算委員会で「全国民が年1回は歯科健診を受ける『全国民皆歯科健診制度』の実現を検討すべき」という質問を安倍元総理に対して質問したことが、着実に進んでいることの証左であり、山田宏参議の行動力に改めて感服するところです。

社会保障

国民皆保険を堅持し、予防・健康づくりの取組みとともに、小児・周産期医療、救急医療等の確保、医師偏在対策、医師の働き方改革、生涯を通じた歯科健診の充実（国民皆歯科健診）、かかりつけ薬剤師・薬局の普及、看護職の確保対策を進めます。また、福祉分野を含めたデータヘルス改革・ゲノム医療を工程表に則り進めます。

社会保障

医療

自民党HPより



自由民主党政権公約発表記者会見での高市早苗政調会長と木原稔政調会副会長兼事務局長（木原稔HPより）



高市早苗政調会長に「国民皆歯科健診」の公約盛り込みを申し入れする古屋圭司衆議院議員と山田宏参議院議員（山田宏 Facebook より）

参院比例代表候補 比嘉なつみ先生 繰上当選

参議院山口県選挙区の欠員に伴う、補欠選挙が10月25日に行われることになり、この参議院山口県選挙区補欠選挙の候補者として、北村経夫参議院議員（全国比例、令和元年選出）が全国比例区から山口選挙区へ立候補されました。

この出馬により、北村氏が選出されていた令和元年選挙における全国比例区の自民党議員枠が1名空くことになり、次点であった比嘉先生が繰り上げ当選となりました。

歯科医師である比嘉なつみ先生は、参議院比例代表候補として、日本歯科医師連盟をはじめ、熊本県歯科医師連盟も、ともに支援をしましたが、選挙の結果、惜しくも次点となっていました。

これにより、比嘉先生は再び国政の場で活躍されることとなりました。日本歯科医師連盟のHPでは、比嘉先生のメッセージが掲載されています。

参議院議員 比嘉奈津美先生より歯科医師の皆さまへ御礼メッセージ

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度の第25回参議院議員通常選挙に際しましては、心強いご支援とご懇篤なる激励を賜りまして、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、衆議院議員2期を経て3度目の国政への復帰を果たすことができました。これもひとえに、短い期間の選挙でありながら次点にまで押し上げていただきました日本歯科医師連盟、都道府県歯科医師連盟及び全国の会員の皆様方の温かいご支援の賜物であります。

この2年間、日本歯科医師連盟顧問としてまた元衆議院議員の歯科医師として多くの先生方にお会いし、様々な現場の声を伺い『先生方の思い、歯科界の要望を実現しよう』と、歯科医療政策を各地に訴えて参りました。

これからもご支援いただいた先生方へのご期待に応えるべく、歯科医師の国会議員として初心を忘れずに全力で国政に取り組み、歯科医師の声を国会に届けて参る所存でございます。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

比嘉なつみ



議員バッジをつけられた
比嘉なつみ参議院議員

